

# 尾道造船グループ※の事業基盤強化計画(抜粋)

※尾道造船(株)、佐伯重工業(株)

## 企業概要

- 尾道造船(株)は1943年創業。1988年に佐伯重工業(株)をグループ会社とし、両社でばら積み船・Ro-Ro船・タンカーを中心に同船型の連続建造に取り組んでいる。
- 環境規制の強化に対応する船型開発として、省エネ・省力化を目的としたMGO※専焼船を2022年に就航させ、お客様のご要望や環境規制に対応した船舶の供給を行っている。

※MGO: マリンガスオイル。重油に比べて高品質で環境にやさしい。また燃焼性も良いので、システムがシンプルとなり、オペレーションコスト、メンテナンスコストの低減が可能。



## 計画の概要

- 低・脱炭素代替燃料船として、新たに開発される水素燃料エンジン(低速2ストロークエンジン)、水素タンク及び燃料供給システムの搭載を可能とする次世代燃料対応船型の開発及び船内システムを構築し、世界に先駆けた水素燃料船の建造により、日本における次世代船舶に係る技術力及び国際競争力の強化を図る。

<計画実施期間> 2023年4月～2028年3月

<実施場所> 尾道造船(株) 尾道工場(広島県尾道市)

佐伯重工業(株) 佐伯工場(大分県佐伯市)

